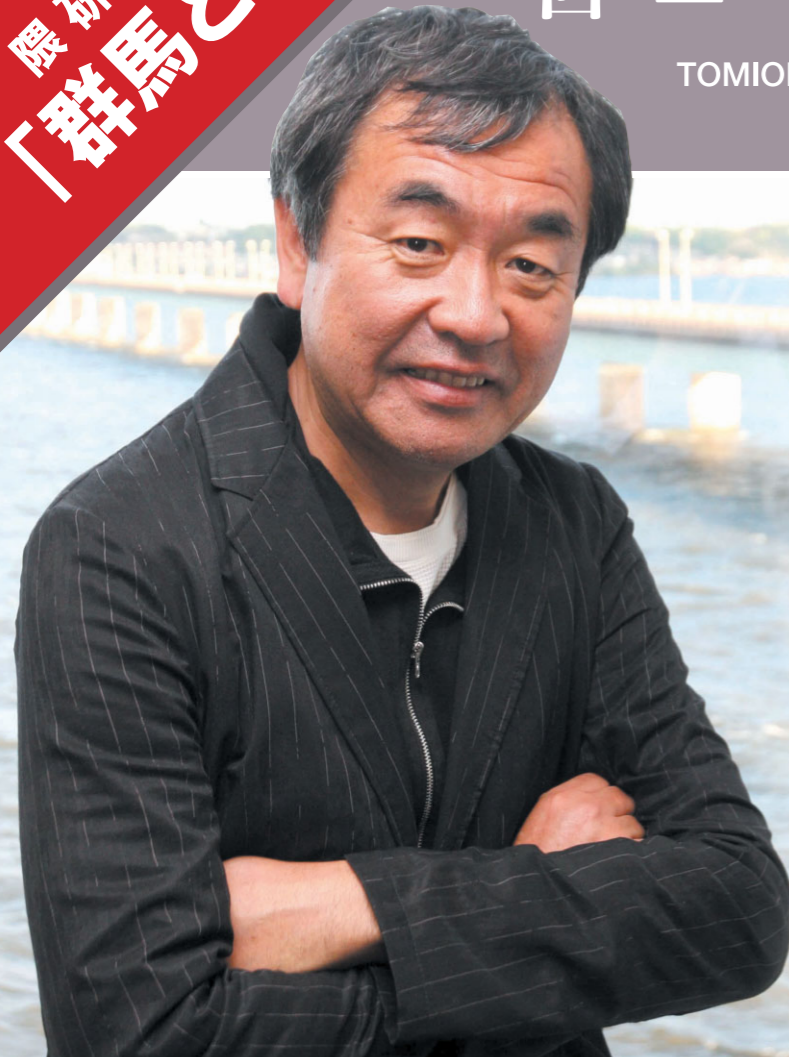


隈研吾氏が語る
「群馬と世界」

第3回

TOMIOKA世界遺産会議

TOMIOKA世界遺産会議は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録された後の地域づくりについて、県民と共に考える公開講座です。
今回は国内外で活躍する建築家の隈研吾氏を迎え、まちづくりや歴史遺産活用など多方面から郷土の可能性を探ります。



日時／5月31日(土) 15:00 開演
会場／前橋工科大学・1号館5F 151講義室 前橋市上佐鳥町460-1
時間／■第1部 15:10～16:10

宮崎 均氏「世界遺産バッファゾーンの未来」
星 和彦氏「建築史からみた富岡製糸場」
石田 敏明氏「歴史的建造物とまちづくり」

※上記講師はいずれも前橋工科大学教授

■第2部 16:20～18:00
隈 研吾氏「群馬と世界」建築家・東京大学教授

定員／300名

隈 研吾(くま・けんご)
1954年生まれ。1979年東京大学建築学
科大学院修了。コロンビア大学客員研究員、
慶應義塾大学教授を経て、2009年より東京
大学教授。1997年「森舞台/登米町伝統芸
能伝承館」で日本建築学会賞受賞、同年「水
/ガラス」でアメリカ建築家協会ベネディクタス
賞受賞。近作に歌舞伎座、プザンソン芸術
文化センター、マルセイユ現代美術センター、
根津美術館。著書に「つなぐ建築」(岩波書
店)「小さな建築」(岩波書店)「建築家、走る」
(新潮社)など、多数。

©The Courier



宮崎 均(みやざき・ひとし)
日本大学大学院理工学研究科後
期課程修了(工学博士)。専門は、都
市・建築計画。主な研究テーマは、「温
泉街のまちづくりに関する研究」、「農・
漁村と都市交流に関する研究」など。



星 和彦(ほし・かずひこ)
東京都立大学大学院単位取得退
学(工学博士)。専門は、17世紀から
19世紀にかけての英国建築史、ならび
に歴史的建造物や環境の保存・活用。



石田 敏明(いしだ・としあき)
広島工業大学工学部建築学科卒
業。専門は建築意匠、建築設計。デ
ザイン手法としての建築構法やレンガ
蔵の保存再生手法などについて研究。

絹の物語 未来へ



公開講座 参加者募集

入場無料

お申し込み方法

締切／5月23日(金)必着。

はがきに、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名
④年齢⑤職業⑥電話番号を明記し、〒371-8666(住
所不要)上毛新聞社営業局「世界遺産会議」事務局
へお送りください。ファクス(027-254-9904)、またはメ
ール(kikaku@raijin.com)でも受け付けます。先着順
に聴講券を発送します。

問い合わせ
上毛新聞社営業局「世界遺産会議」事務局
TEL.027-254-9945(土・日・祝日を除く午前9時～午後6時)

主催／上毛新聞社 共催／前橋工科大学
特別協力／群馬県、群馬県観光物産国際協会
後援／前橋市、富岡製糸場世界遺産伝道師協会